

西部教育局からのお役立ち情報 今月のトピック紹介版

1月号



令和5年度

教育DX推進員巡回相談より ～一部抜粋～

組織で支える「絆づくり」と「居場所づくり」

教育相談を生徒指導の一環として位置付けた取組

～円滑な幼保小連携・接続をめざして～

育ちと学びをつなぐ架け橋期のカリキュラム編成に向けて

【西部地域開催】

鳥取県エキスパート認定教員による公開授業の御案内



情報活用能力の全体計画作成について



情報活用能力の育成を目指して校内で全体計画を作成しているところです。各学年で目指すべき力や小中学校間の系統性について、参考にできるものがあれば知りたいです。

県教育センターから出しているICT活用ハンドブックに『小・中・高を見据えた情報活用能力の接続イメージ』が掲載されています。小中学校での系統的な指導を意識するのは、大切なことです。すでに全体計画を作成している学校でも、確認や見直しをする際に御活用ください。

※活用ハンドブックは、
右のQRコードから
御覧いただけます。



ローマ字入力の指導について



ローマ字入力の指導を学校全体で進めていきたいと考えています。ローマ字の学習は小学校3年生の2学期にする予定ですが、低学年での指導も含めて相談したいです。

ローマ字入力等のタイピングに関しては、ホームポジションなど、最初に指導しておくの良いポイント等をお伝えすることができます。

御要望がありましたら西部教育局 学校教育担当 (0859-31-9773) まで御連絡ください。

ホワイトボードツールについて



授業でJamboardを使うことが多かったので、提供終了の話を聞いて不安です。今から準備できることや、Jamboardに代わるものはありますか。

代替アプリの一つとして、FigJamの使い方を県教育センター教育DX推進課が「放課後ワンポイントレッスン」で紹介しています。約5分の動画にまとめて解説していますので、御活用ください。

Google Jamboard の提供終了について

2024年12月31日以降は、ウェブ、iOS、Android、Google Meet デバイスで Google Jamboard をご利用いただけなくなります。(省略) 【Googleヘルプより一部抜粋】

※Jamboardに関する最新情報は、
Googleヘルプサイト
(<https://support.google.com/?hl=ja>)
を御確認ください。

放課後 ワンポイントレッスン

令和5年度

第1回「チャットスペースの作成」

第2回「FigJam (フィグジャム) の使い方」(New)



Googleアカウント (@g.torikyo.ed.jp) でログインしてご覧ください。

☆出かけるセンター【学校訪問型研修 (ICT活用教育)】

- ・ Google Workspaceの基本操作
 - ・ それらの機能を使った授業改善や業務改善につなげる応用的な研修
 - ・ 校内推進体制づくり
 - ・ 小学校におけるプログラミング教育の支援
- ※学校のニーズに応じて、短時間の研修や相談から、校内研修等も実施できます。
※今年度は、令和6年3月8日(金)までに実施される研修を受付中です。
お気軽にお問い合わせ下さい。

※詳細はQRコードから
御確認ください。





教育相談は、生徒指導の一環として位置付けられ、重要な役割を担うものであることを踏まえて、生徒指導と教育相談を一体化させて、全教職員が一致して取組を進める必要があります。

※生徒指導提要 P80

※SC：スクールカウンセラー SSWr：スクールソーシャルワーカー

西部地区

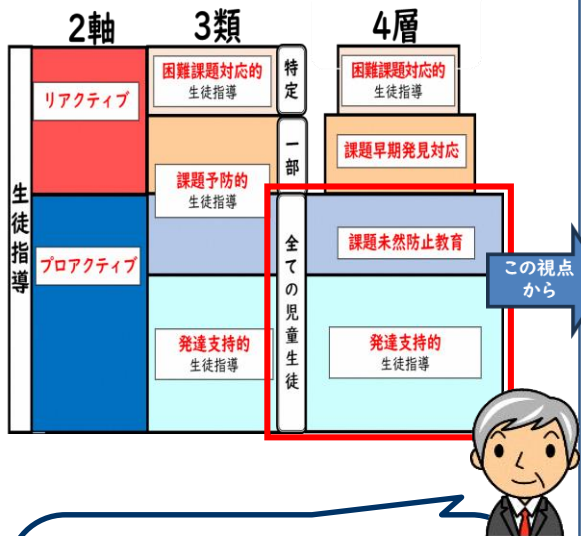
※学校における教育相談担当等の取組実践例

【生徒指導の目的】

生徒指導は、児童生徒一人一人の個性の発見とよさや可能性の伸長と社会的資質・能力の発達を支えると同時に、自己の幸福追求と社会に受け入れられる自己実現を支えることを目的とする。

※生徒指導提要 P13

重層的支援構造モデル



☆教育相談活動の全校的展開

※[参照]生徒指導提要 P82～P85

【課題予防的教育相談 (課題未然防止教育)】

・全ての児童生徒を対象とした、ある特定の問題や課題の未然防止を目的に行われるもの。

(例) SCの協力を得ながら
生徒指導主事と教育
相談担当等が協働して
企画し、実践する
プログラムなど
(いじめ防止や暴力防止など)

【発達支持的教育相談】

・様々な資質や能力の積極的な獲得を支援する教育相談活動であり、個々の成長・発達の基盤をつくるもの。

(例) 対人関係スキルや
協働的な問題解決力を
身に付けることのできる
学びの実施など
(特別活動や教科学習)

「健康な子をより健康にする」

ための生徒指導、教育相談の取組が求められています。子供たち自身が、自分の心の健康を意識し、管理することの必要性に気付くことは、自己実現に向けた発達を支える上でも大変重要です。

内 容	実 践 例	効 果
SC・SSWrと教員をつなぐ	・SC・SSWrへ、支援会議等への参加を促したり、支援会議等の資料を事前に渡し、意見を聞くことで対応の参考にしたりする。	・専門的な視点からの意見を取り入れることで、子供への支援の幅を広げることができる。
教育相談体制の整備	・SCによるカウンセリング後、複数の教職員で情報共有を行うように働きかけをする。	・専門的な見立てを多くの教職員で共有することで支援の幅が広がる。
小中連携の工夫	・中学校区で共通のアセスメントシートの作成と活用を推進する。 ・中学校区の教育相談、生徒指導等の担当定例会の実施への働きかけをする。	・小、中学校9年間を見通した継続的な定例会をすることで、未然防止や迅速な初期対応へつなげることができる。
心理教育等の授業づくり	・子供に必要な心理教育等のプログラムを位置付けた年間指導計画の作成をする。 (アンガーマネジメント、ストレスマネジメント等) ・SCとSSWrによる授業づくり。	・全ての子供を対象に、個人の資質や能力の伸長を援助することができる。
SCの役割の周知	・中学校区へ配布する「教育相談通信」を発行する。 (内容: カウンセリング等が可能な日程等の周知やSCによるコラムの掲載等)	・相談機関を利用しやすい環境を作ることで、より身近な存在として感じることができ、つながりを深めることができる。

～円滑な幼保小連携・接続をめざして～ 育ちと学びをつなぐ架け橋期のカリキュラム編成に向けて

西部教育局
お役立ち情報
令和6年1月号

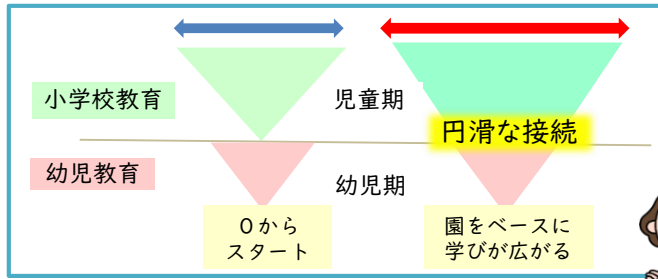
これからの幼保小連携・接続は…

今までと何が違うの？



	これまで	これから
目的	小学校への順応	学びの連続
内容	交流活動	カリキュラム編成
期間	数か月	2年
実施単位	施設単位	地域単位

R5年度幼児教育の理解・発展推進事業（中央協議会）資料



国が進めようとしているのが…

【**幼保小の架け橋プログラム**】です。
5歳から小1の**2年間**を「**架け橋期**」と位置づけ、すべての子供に、**学びや生活の基盤**を保障するため、自治体のリーダーシップのもと、カリキュラム開発会議等、**体制を整え**、架け橋期にふさわしい**カリキュラムを作成・評価**することで、**教育の充実・改善**を目指します。

詳しくは、文部科学省のホームページへ！

幼保小の架け橋プログラム 検索

幼保小の架け橋プログラムの実施に向けての手引き（初版）

令和4年3月31日
文部科学省

円滑な接続がおこなわれると
子どもの学びがより大きくなりますね。

架け橋期のカリキュラム開発のためには

幼児教育・小学校教育の**相互理解**が欠かせません。



【その①】今、実施している交流・見学・体験について、**事前事後の対話**の機会を持ちましょう。

同じ**中学校区**の園・小学校の先生方も参観。

米子市

（崎津小学校区の取組）

①事前協議
（別日）

②公開保育（30分）

③保小交流（45分）

④事後協議（30分）



公開保育・交流での子供の姿をふまえ、ねらいにせまるための**効果的な環境の構成**や**援助について協議**。



【その②】**幼保小合同研修会**を実施し、「幼保小の架け橋プログラム」について学ぶとともに、**対話**を通して子供たちのことを共に語り合い、保育・教育の改善につなげていきましょう。

大山町

そうなんですネ。
小学校の生活科では…



園と小学校等で共通して実践していること（秋の遊び、話し合い活動）等、について対話し、**育ちと学びの連続性**を確認。

江府町

園では義務教育学校につながる姿がたくさん育っていますね。
これから一緒に伸ばしていくためには…



「**幼児期の終わりまでに育ってほしい姿**」をふまえて子どもたちの実態を話し合い、町の「**架け橋期にめざす（期待する）子供の姿**」を協議。

オンラインで学ぼう架け橋期のカリキュラム！

ぜひ、参加をご検討ください！！

この研修を校区の園・小学校の合同研修会として同じ場で一緒に受講し、今後の取組について話し合うとより効果的です。参加申し込みは、12月11日付けで小中学校課より通知しております開催要項等を御確認ください。



第2回幼保小連携・接続推進研修会（オンライン開催）

日時：令和6年2月5日（月）

午後1時15分から午後3時30分まで

内容：実践発表（**米子市美保中学校区・若桜町**）

指導助言・講義

國學院大学 田村 学 教授

公開授業の御案内

西部教育局
令和6年1月

優れた教育実践を行っているエキスパート教員の授業を参観することは、教育技術を学ぶとてもよい機会です。教科等の指導技術や児童生徒がいきいきと学ぶ環境づくり等、具体的な姿から指導のコツやポイントを学ぶことができます。ぜひ、御活用ください。

チャンス!

認定分野

「小学校 外国語活動・外国語」

米子市立福生西小学校

米子市上福原5丁目4番地1号

●授業者 山中 健一 教諭

授業日

1月16日(火)

1月12日(金)

申し込み
締め切り

●開催時間【受付】 13:00~13:30

【公開授業】 13:40~14:25

★第6学年

【研究協議】希望がある場合は授業後実施

●授業内容【单元名】 Unit7 「My Best Memory」

・言語活動の工夫

・「Starting Out」の指導の工夫について

認定分野

「小学校 算数」

米子市立福米東小学校

米子市東福原5丁目7番1号

●授業者 原 智子 教諭

授業日

1月17日(水)

1月15日(月)

申し込み
締め切り

●開催時間【受付】 9:10~9:30

【公開授業】 9:30~10:15

★第2学年

【研究協議】10:20~11:00

●授業内容【单元名】 九九のきまり

・育成すべき資質・能力や児童の様相の明確化・具体化による、児童の学習状況に応じた指導・支援の充実

・ユニバーサルデザインの考え方を取り入れた算数科の授業づくり

認定分野

「中学校 ICTを活用した
教育活動」

米子市立尚徳中学校

米子市日原146番地

●授業者 木村 和仁 教諭

授業日

1月25日(木)

1月22日(月)
申し込み
締め切り

●開催時間【受付】 13:25~13:45

【公開授業】13:45~14:35

★第2学年

※2年1~3組の全教室公開

●授業内容「教科等名」 理科

【单元名】 活きている地球

・小学生に対して、中学生がオンラインで授業を行う。

⇒(中学生)発信力・表現力の育成

(小学生)知識の定着・オンラインでのやりとり

・小中連携の一つの形として提案

・島根半島、宍道湖中海ジオパークとの連携

過去の動画を見たい人はこちらをどうぞ!

(教職員専用)ウェブサイト
「とっとり『学びの部屋』」

とっとり「学びの部屋」

小学校の「学びの部屋」

中学校の「学びの部屋」

外国語活動・外国語

特別支援学級

エキスパート教員

<令和4年度>

「今、求められる資質・能力」育成に係る授業づくり研修動画(令和5年3月)

小学生国語(小6) 鳥取市立美保南小学校 大呂 優香 教諭(令和4年度所属)

小学校算数(小3) 米子市立成実小学校 原 智子 教諭(令和4年度所属)

中学校国語(中3) 米子市立東山中学校 飯塚 洋介 教諭(令和4年度所属)

中学校数学(中1) 倉吉市立東中学校 眞山 元樹 教諭(令和4年度所属)

過去の授業動画について、学校教育支援サイトだけでなく、教職員専用ウェブサイト「とっとり『学びの部屋』」にも一部を掲載しております。ぜひ御活用ください。

※視聴するには鳥取県の個人アカウントが必要です。(～@g.torikyo.ed.jp)

